

備前市事務事業評価表

事務事業名	奨学金貸付事業	コード	03-02-03-02
		担当課・係	生涯学習課
		担当者	松井由美
事業実施期間	平成17年度～(新備前市分)		
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	03 地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	02 生きがいのあるまちづくり	
	小項目(施策)	03 成人教育	

事業について	
目的 (何のために)	経済的な理由により就学困難な者に奨学金を貸し付け、高校大学に進学できる学習機会を提供することにより、将来社会に貢献しうる有益な人材を育成することを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	経済的な理由により就学困難な高校生・大学生
内容	第一種奨学金・高校生に月額1万円、大学生に2万円を無利子で貸し付け、第二種奨学金・高校生に月額3万円、大学生に月額5万円を年利1.375%で貸し付け。卒業後10年で償還してもらう。 なお、旧市町で行っていた奨学金貸付事業も引き継いで貸し付けている。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
奨学金貸付第一種奨学金	1人	2人	
奨学金貸付第二種奨学金	9人	12人	
備前市奨学金貸付給付金	3人	2人	
日生町奨学金貸付給付金	18人	11人	
吉永町奨学金貸付給付金	8人	5人	
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費
	財源	事業費	財源
直接事業費	14,484	国庫補助金等	直接事業費
人件費	2,335	受益者負担	人件費
		市債	
合計	16,819	一般財源等	合計
	0.25	人	

結果指標	結果指標名	奨学金返還金収納率	奨学金返還金収納率
	結果指標量	80.7	68.9
	単位	%	%
	対前年比	-	85.37%
結果指標	活動にかかるコスト	円	円
	単位当たりコスト	円	円
	結果指標名		
	結果指標量		
結果指標	単位		
	対前年比	-	
	活動にかかるコスト	円	円
	単位当たりコスト	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	合併後、旧備前市・日生町・吉永町の奨学金返還も引き継いでおり、旧備前市の償還は平成17年度から始まり、順調に償還が行われているが、旧日生町・吉永町からの奨学金の滞納が、新備前市になってからも同様に続いており、この解消を目指す。		
成果指標名	奨学金返還金収納率	式又は説明	返還金収納額/返還金調停額
	17年度	18年度	
成果指標量	80.70	68.90	
対前年比	-	85.38%	0.00%
到達目標値	0.95	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつづめる <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
市民ニーズの妥当性	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
職場の効率化	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

平成19年度の状況		説明 平成19年度も、新規の奨学生として第一種奨学金4名程度、第二種奨学金6名程度の募集を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了
目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価	奨学金貸付事業は、合併前備前市、日生町、吉永町において実施しており、それぞれに条例、規則で目的等が定められている。合併前に貸付決定している日生町、吉永町の奨学生については、それぞれの条例等により貸付事業を継続していく。(奨学金返還についても同様)また、合併後からは新しい備前市奨学金貸付規則の施行により、第一種奨学金(無利子)と第二種奨学金(有利子)を実施しているために、奨学金貸付事業に係る事務量が増え、平成17年度からは人件費コストが増大している。成果指標に取り上げた返還金の収納率については、	評価区分 <A-E> C
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	奨学金返還金滞納者への督促等	19年度	奨学金返還金収納率の向上